

文化審議会博物館部会「法制度の在り方に関するワーキンググループ」 ヒアリング資料

令和3年8月11日 日本博物館協会

1 「博物館法制度の今後の在り方について」(審議経過報告)について

- 1) 今回の審議経過報告で示された現状認識および今後目指すべき方向性については、日本博物館協会として同意する。一方で、審議でも多くの指摘がなされたとおり、国内博物館の運営環境は厳しく、博物館に期待される役割期待に応えていくためには、全国的な収蔵施設不足や小規模施設の人員不足等の課題解決につながる、新たな登録制度のメリットの拡充をはじめ、全館種の博物館の振興に寄与できる制度が求められている。今後は、文化庁の博物館政策を進める体制強化とともに、国の博物館に関する国際戦略の策定等を視野に含めた、博物館制度の充実に向けた審議の進展を期待する。
- 2) これまでの審議で「拙速な議論を避ける」とされた学芸員制度については、現状における博物館制度上の重要な課題であり、継続して十分な検討が必要不可欠と考える。
- 3) 今回の報告で、新たな登録制度に必要とされた「第三者組織」は、今後、制度の根幹とされる、日本の博物館の「底上げ」と「盛り立て」を進める上でも重要な役割を期待されているが、その機能と組織形態の在り方については、さまざまな視点からの考察と、シュミレーション等の実施を含めた検討が不可欠である。今後、検討に必要な情報収集・整理とともに基本的方向案を作成するための調査研究を、早急に実施する必要があると考える。
- 4) 想定される第三者組織の機能や期待される役割は、日本博物館協会が90年以上取り組んできた諸事業との共通点も多いが、実際の運営面では財源の確保等現実的課題も想定される。今後、第三者組織の在り方の検討に際しては、制度上必要な基本機能の確保に向けて、運営組織の基盤等、実現可能な項目から具体の検討を進める必要があると考える。

2 第三者組織に必要な基本的要件

- I 組織としての独立性が担保された中立的組織であること
- II 館種・設置者を問わず全国の博物館の状況を把握できる組織体制を有していること
- III 文化庁および都道府県の教育委員会等、審査・登録機関と連携できる体制を有していること
- IV 当面の組織基盤構築には国の補助金等による運用が必要である状況を踏まえつつ、制度の導入後は自立的運営が可能となる中長期的経営体制が想定できる組織であること

3 新たな登録制度の運用に関して第三者組織に求められる基本的機能

- I 博物館の登録基準の設定、登録申請ガイドラインの作成、登録制度の周知・相談対応
- II 都道府県の教育委員会等、審査・登録機関の審査支援・助言
- III 国内博物館のネットワーク連携および各館種団体・関連組織との連携
- IV 登録審査、事前相談、登録後の活動支援に対応できる、館種・地域等の特性を踏まえた有識者等の全国的人材ネットワークの構築・運用
- V 国内の登録、非登録博物館のリスト、運営状況の把握と管理
- VI 登録更新に関する基礎業務、施設別事業評価、審査・登録機関の更新業務支援・助言

4 博物館振興に必要とされる機能に対する既存組織等との連携・協力等(中長期的展望)

- I 博物館の歴史や国・自治体等の博物館政策、博物館学等の記録や文献情報の集積とアーカイブによる情報センター機能
- II 博物館の課題共有と制度改善支援に係る国や都道府県等との連携機能
- III 学芸員をはじめとする博物館職員の人材育成に係る国や都道府県等との連携・協力機能
- IV 博物館の運営実態や課題対応のための調査研究
- V 災害対応等に係る文化財防災センター等とのネットワーク連携機能
- VI ICOM等、関連国際組織との連携、国内博物館への情報共有・国際化支援

5 第三者組織の在り方を検討するために調査研究を実施する必要性

- * 今回の審議経過報告で必要性が示された、新たな登録制度を支える第三者組織の在り方については、これまで述べてきたように、組織の形態や機能、担うべき役割、他の関係組織等との連携等、さまざまな視点からの検討が求められる。今後、その在り方の検討を進めるためには、有識者・関係者等によって構成する委員会を設置し、重要な課題についての調査研究を行い、その結果を基に第三者組織の基本的在り方を示す必要がある。
- * 調査研究項目として必要と思われるポイント；
 - ・新たな博物館登録制度の導入に向けた全国の博物館施設に対する悉皆的アンケート調査
 - ・都道府県の教育委員会等を中心とする博物館登録事務に関する実態調査
 - ・登録審査基準案の見直し、特に、館種特有の基準についての調査と、基準案の作成
 - ・他の館種組織、大学、学会等関連組織・機関との連携体制の検討
 - ・第三者組織の機能・役割の整理と、それらに基づく組織形態と規模の検討
 - ・想定される組織規模と求められる業務内容に基づく第三者組織の運営費用の算出
 - ・海外の類似する組織に関する最新情報のアップデートと課題の分析
 - ・第三者組織の中長期的経営方針の検討（財源、継続的運営基盤の在り方等）
 - ・その他必要な事項

新たな博物館登録制度を支える第三者組織(機能イメージ)

博物館登録制度運用機能

- * 登録基準・ガイドライン
- * 制度周知・申請支援
- * 審査支援
- * 更新・評価支援
- * 関係組織連携
- * 博物館ネットワーク連携
- * 審査・評価・事業支援人材バンク
- * 人材育成

制度維持機能

- * 国・自治体等との連携
- * 現場課題の把握・共有
- * 現場へのフィードバック

新たな博物館登録制度の運用に不可欠な基本機能

第三者組織
博物館登録制度を支える中立的組織

既存組織等との連携・協力(中長期的展望)

発展的役割(国際・災害)

- * ICOM等国際機関連携
- * 国際化支援
- * 災害対応に向けた組織連携

発展的役割

- * 博物館情報センター
- * 博物館関連資料アーカイブ
- * 調査研究
- * 博物館制度改善支援
- * MLA、関連学会等連携